

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第8回会議
開催日時	令和2年6月10日（水） 13:30～15:30
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 工程表について 2 技術提案書について 3 建設位置、階数等について
配布資料	資料1 工程表 資料2 技術提案書 資料3 配置比較表
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	1 工程表について 2 技術提案書について 3 建設位置、階数等について
1 工程表について（事務局説明）	
工程表のとおり各工程の期間、検討委員会は年内4回開催すること等を説明した。	
2 技術提案書について（アトリエブシク説明）	
基本・実施設計に関わる技術者の紹介、その他にも構造・電気・外構を含めたチーム一	
体となって取り組む。	
技術提案書は、国道側に賑わいの空間があるようなイメージとし、建物内に様々な方面	
からアクセスできるように設計した。	
一部を平屋、一部を3階建てとし、建設コストを抑えるために、現状の地形を活かした	
配置とする。また、その土地にあった環境や風土、地場産業などの特色ある建物を設計す	
るようにしている。	
【質 疑】	
■ 木材を使うと耐久性や機能性はどうか。	
→ 構造体はRCといった安全なものを使い、木材は内装材として使う手法もある。天	
井や内壁、また、じゃがいもストリート（技術提案書参照）などの人が触れるところ	
には木材を使っていきたい。	
木造で建てられた役場庁舎が少ないのは、柱の間隔を広くすることが難しいため柱	
の数が多くなり、コストがかかり、耐火性に劣るためであり、防災拠点としては安全	
性を重要視する必要があるため耐震性に優れたRC造を提案した。	
■ 吹き抜けによる自然換気とあるが、小清水町は風が強いが大丈夫か、また、開閉を自	
動化するとメンテナンスに費用が掛かるのではないか。	
→ 風向測定などを行い、これから状況を把握してから検証を十分に行ってきたい。	
また、手の届かない所は自動化することになるが、屋上に上がることで外からメンテ	
ナンスができるようにする。定期的な保守点検は不要な装置であるため、維持するの	
に費用がかかることはなく、壊れた場合に修理、交換する。	
■ どのくらいの震度まで耐えられるのか。	
→ 震度6強の地震に耐えうる耐震基準より1.5倍の構造強度設計を行うこととして	
いる。震度7の地震では、部分的に壊れることはあるかもしれないが、倒壊すること	
はなく、人命に被害がでないような設計を考える。	

<p>■ エネルギーの自給率はどれくらいになるのか。</p>
<p>→ 電気を生み出す方法は、太陽光発電などが考えられるが、お金をかけて設備を大きくすることで発電量が増えるものの、他の事例をみても役場庁舎で使用する電気の10%程度しか賄えないと考えている。</p>
<p>したがって、エネルギーを生み出すよりもあまり消費しない方向で検討し、省エネや断熱効率の高い建物を目指したい。</p>
<p>■ 公民館に手織りの会が所有する機械が設置されているが、今後どうするのか。</p>
<p>→ 具体的なことについては、これから手織りの会と直接相談していく。</p>
<p>■ スケジュールがタイトに感じるが、建設場所はいま決めなければならないのか。</p>
<p>→ 建設位置を決めなければ、諸室などの配置を検討する平面図に取り掛かることが出来ないため、この場で検討委員会としての意見をまとめることとしたい。現在までに、庁内の準備作業チーム、検討会議で検討してきており、検討委員会のご意見をいただきながら整理していきたい。なお、配置についてはこの後にアトリエブंकより4案について説明する。</p>
<p>■ 小清水町らしさはどのようなところに入れていくのか。観光客も含めて人が集まるポイントを教えてほしい。</p>
<p>→ にぎわいのある空間については、人が集うような魅力ある施設を作らなければならない。町民説明会でも新庁舎ににぎわいを作るためのカフェ、スポーツジム、ランドリーといった施設が必要である旨の説明を行ってきた。現在、浜小清水地区が活性化しており、観光客を市街地にも引き込みたいと思っている。にぎわいのある空間の監修や調整をルネサンスに業務委託しており、庁舎本体を設計するアトリエブंकとも連携してもらいながら、総合的なにぎわい空間を検討していく。</p>
<p>■ 高校跡地の新しい施設と連携した町全体のランドデザインを考える必要があり、移住対策となるテレワークなどをひっくるめた町づくりを見据えて庁舎のあり方を考えて欲しい。</p>
<p>3 建設位置、階数等について（アトリエブंक説明）</p>
<p>今回提示した配置比較表は、プロポーザルで示した国道側に建てる配置案にこだわることなく、空き地となっている現在の役場庁舎の西側と国道沿いの南側を比較し、地形にあった階数を考慮した4案で比較検討を行う。</p>

【質 疑】

■ 国道側に建てた場合、国道から新庁舎を見たときに、3階建てとなるためそそり立っているような印象になってしまわないか。

また、人の流れの多くは新庁舎西側の駐車場から庁舎に入ることになるので、国道側に建てた場合のファサード（建物の正面、メインの入り口）の向きを考えた方がいいのではないか。

→ 現在の中央公民館と同じように、国道側から見ると3階建てになるとイメージして欲しい。威圧感が無いように3階部分を小さくしたり、隣接建物が日陰にならないような形状にしたり、最適なものを提案していきたい。

建設位置が決まったのちに平面計画をすすめるため、入口等については、これから提案したい。

■ 平屋だと建築コストが高いのか。

→ 建物の建築コストは、基礎と屋根の面積に比例するため、総2階と比較すると高くなるのが一般的である。

2層以上になるとエレベーターの設置が必要になるが、それでも平屋の方がコストは高くなると想定される。

■ 町道が廃止されることになっているが、う回路は整備しないのか。

→ 建物の形状によっては町道を廃止することが必要になるが、別の場所に緊急時に使用できる道路を整備することも検討している。

いずれにしても、傾斜がきつく、見通しが悪い、安全性に欠ける役場と駐車場の間の町道を現行のまま使用することは望ましくないと考えている。

■ 防災ひろばや公園は冬期間どうするのか。

→ 利用目的がなければ除排雪などの管理はしないことで考えている。

■ 出てきた意見を所属団体と相談する時間が欲しい。会議当日に資料を配付され、説明されても即決するのはつらい。

→ 当日に説明し、建設位置を決めるということになり申し訳ないと思う。基本設計を12月までに作り上げなくてはならない。毎回諮問するわけでないので、ご理解いただきたい。（資料の事前配布を検討）

■ 利用者ファーストとし、町の象徴としても見られるように見え方を工夫して欲しい。

本委員会としては、新庁舎の建設位置は、現在の中央公民館と駐車場の位置がふさわしいとの結論を得たため、その旨、町に対して答申を行うこととした。